

皮膚バリアの視点からのミドルエイジの乾燥肌対策

ミドルエイジの乾燥肌対策として、水分補給やヒアルロン酸の補給でハリを作り、若々しい肌を保つことが推奨されますが、皮膚科学や皮膚バリアの観点から見ると、これは一時的な対策に過ぎません。

こうした方法による対策では、皮膚バリアの修復強化や持続的にハリを作り、若々しい肌を保つことにはつながりません。持続的にハリを作り、若々しい肌を保つためには、皮膚バリアを修復・強化し、水分蒸散・異物侵入を防ぎ、角質層の水分保持力を維持するアプローチが必要です。

一時的にハリを作り、若々しい肌を保つ。それで「良い」とする。このような考え方のもとで、水分補給やヒアルロン酸の補給がミドルエイジの乾燥肌対策として推奨されていますが、この時代は終わったのではないのでしょうか。これからは、皮膚バリアの視点からのミドルエイジの乾燥肌対策が求められます。

●皮膚バリアの視点からのミドルエイジの乾燥肌対策のポイント

1. 持続的な潤い：
ヒアルロン酸などの成分は即効性があり、その場での潤い感を提供しますが、皮膚バリアを修復・強化し、水分蒸散・異物侵入を防ぎ、角質層の水分保持力を維持し、持続的な潤い効果を得るには直接寄与しません。
2. 科学に基づく製品選択のアプローチ：
持続的な潤い効果を得るためには、科学に基づいた製品選びが重要です。即効性のある成分だけでなく、皮膚バリアを修復・強化し、水分蒸散・異物侵入を防ぎ、角質層の水分保持力を維持し、持続的な潤い効果を得ることができる製品を選ぶことが重要です。これにより、角質層の水分保持力を維持し、持続的にハリを作り、若々しい肌を保つことができます。
3. 皮膚バリアを修復・強化し、持続的な潤いを保つ製品
皮膚バリアを修復・強化し、水分蒸散・異物侵入を防ぎ、角質層の水分保持力を維持し、持続的な潤い効果を得ることができる製品とは、リノール酸・ビタミン E 含有の合成界面活性剤不使用のエマルジョン化粧品です。これにより、持続的な潤い効果を得られます。

●結論

ミドルエイジの乾燥肌対策としては、よく推奨されるその場しのぎの方法に頼らず、皮膚バリアを理解し、持続的な潤いをもたらす科学的根拠に基づいた方法を取ることが大切です。これにより、ミドルエイジの方が望む「なりたい肌」、持続的にハリのある若々しい肌を実現することができます。